

議員活動あれこれ



戦没者追悼式(4月)



有明海漁場視察(5月)



市内共生ステーション視察(5月)



佐賀県総合防災訓練(5月)



岸川 英樹 議員



市民に便利な庁舎とは

問 本庁方式移行の効果
果が十分に見込まれ、市民にとって便利な庁舎とはどう考える。

答 (江里口市長)
四つの既存庁舎の中で、利便性、危機管理、財政的、それに拡張性、そういう観点から三日月庁舎を本庁舎として整備をしたい。

市民にとって便利な庁舎とは、住民サービスができる庁舎だと思っている。本庁舎が三日月庁舎になった場合には、現在の四庁舎で行っている窓口サービスは、それぞれの地域に残していきたい。

問 本庁舎建設で市長は約二十億円以内

を目指すとあるが、具体的に詰めた数字を示すこと。

答 (江里口市長)
建物の規模は七千五百㎡、既存庁舎を利用し、増築面積が約三千㎡。建物の想定費用と、既存庁舎の耐震調査、耐震の工事、不足分の用地の取得費など合わせたら、二十億円以内できると想定している。

問 市の施設の耐震診断について、診断結果と対策はどうなっているか。

耐震化診断の取り組み

答 (松本総務部長)
昭和五十六年以前に建設された施設で、学校施設以外は耐震診断が実施されていない。

問 他に市役所(職員)の行政サービスについて質問しました。

答 (永淵教育部長)
学校施設では、牛津中学校、小城中学校は診断はやっていない。芦刈小学校のトイレ、渡り廊下もやっていない。社会教育施設、公民館棟が九施設、耐震診断はやっていない。財政と十分協議し診断していく。

▶三日月庁舎が本庁舎に決定したが耐震調査はこれから

